



生きものしらべの対象「野鳥」

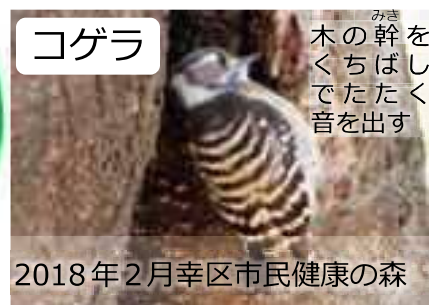
【野鳥を調査の対象とした背景】

鳥は、繁殖や餌、休憩の場所などで様々な環境を利用して生活しており、環境の悪化などによる種の絶滅や減少が数多く報告されています。

いろいろな生きものを捕食し、または捕食されるほか、木の実を食べた後の糞によって植物の種が運ばれるなど、地域の生態系を保つ欠かせない存在となっています。

鳥には様々な種が確認されており、鳴き声や体の大きさ、色、模様などの違いがあるほか、国境を越えて渡りをする鳥とその場に留まって生息する鳥がいます。

このページでは、冬の時期に川崎市内で身近に確認しやすい在来種の野鳥の一部を紹介しています。近くの公園や川などの身近な自然にどんな野鳥が見られ、数や種類が昔と比べてどう変わってきているのかについて、みんなで考えてみませんか？



他にも、神奈川県レッドデータブック掲載種のオオタカ、ツミ、ノスリ、ハマシギも市内で確認されています。



ジョウビタキ (12~3月まで見られる冬鳥)

モズ

コラム：レッドリストやレッドデータブックのカテゴリー分類

環境省や神奈川県において、絶滅のおそれのある野生生物について、絶滅のおそれの程度に応じたカテゴリー分けをして評価したデータを公開しています。

設定されているカテゴリーは次のとおりです。

- EX : 絶滅
- CR + EN (絶滅危惧 I 類) : 絶滅の危機に瀕している種
- CR (絶滅危惧 I A 類) : ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
- EN (絶滅危惧 I B 類) : I A 類ほどではないが近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
- VU (絶滅危惧 II 類) : 絶滅の危険が増大している種

絶滅危惧以外に NT (準絶滅危惧)、DD (情報不足) があります。県では減少種、希少種、要注意種、注目種を独自に設定しています。



しがいち
市内の市街地
で見かける野鳥



2018年2月
川崎区東扇島の公園

スズメ



「ツツピー」と鳴く
2016年12月
多摩区生田周辺

シジュウカラ



「ピョーピョー」と鳴く
2017年1月
麻生区岡上周辺

アオゲラ



市内の水辺の近く
で見かけやすい野鳥



「チー」と鳴く
2017年11月
麻生区岡上周辺

カワセミ



「チィン」と鳴く
2016年11月
麻生区岡上周辺

ハクセキレイ

他にも、神奈川県レッドデータブックに掲載されている種のおオタカ、コアジサシ、オオヨシキリ、キアシシギ、キョウジョシギ、ビンズイ、ミサゴなども多摩川や川崎臨海部の公園で確認されています。

掲載している写真は、かわさき生き物マップに投稿いただいたものです。(投稿者：ペンネーム gamera さん、しずくさん、さいわい加瀬山の会さん)